

☆金属床(メタルプレート)の現在に思う

金属床(メタルプレート)が本格的に製作されだしたのは、1960年当初からだったと記憶しますが、当時は埋没材などなく砂型で製作されておりました。その後、埋没材は磷酸塩系の埋没材が開発され、各技工所でも製作されるようになりました。圧印床からキャスト床へと変遷しました。キャスト床は言うまでもなく、設計の自由度と強度、異物感の減少へと繋がったのは当然の帰結かと思われまます。次にチタン床は圧印も試みられましたが、これは保持装置の不完全から早々に撤退となりました。そしてチタンの鋳造は無理だと言われていたものを、アルゴン雰囲気内での溶解が可能とし、これを強引に押し込もうという発想で開発された鋳造機が発売されました。しかしチタンの溶解が強力な真空内での溶解でないと、酸化のひどいチタンはやはり無理がありました。そこで開発された、強真空度のコベルコ科研の真空機を導入した。鋳造機が開発され、当社でも安心できるチタン床を製作いたしております。続きは次号で

営業部 越塚克公

いつも大変お世話になっております。本年も残り2ヶ月余り1年がたつのは早いものです。さて今回はAGCガルバーノ・クラウンについて述べたいと思います。99.9%以上の純金を使用するもので、生体親和性に優れ、色調も天然歯のような自然で美しい歯冠修復ができ、あるいはテレスコープクラウンのアウトヤーやインプラントの上部構造にも適用されております。

是非当社お勧めの製作物を見ていただければ嬉しいです



技工士 宮當信行

先日オムライスを初めて作って見たのですが、作っている様子は散々見ていた、と思っていたのですが、味は『まあまあ』だったのですが、見た目が残念なオムライスになってしまいました。初めての事に当たる場合、得る事の出来る情報等を出来る限りかき集めて、事に当たる訳ですが、さらに可能な限り『習熟』する事が出来れば、『初めての仕事』でも美味しく出来るもではないでしょうか。レーザー溶接 習熟には毎日30分かけて、半年程かかりましたけど……



技工士 本庄義憲

先日、歯科検診を受けた時の話です。私の歯は、小白歯が舌側傾斜していて対合歯と咬合していない為、先生が「そろそろナイトガードを作った方が良いですよ。」とおっしゃいました。その時、ナイトガードの話になり、セラミック系の補綴物を入れている患者さんに有効だそうです。日常生活や食事中に割れることはあまりなく、大半が歯ぎしりによるものだそうです。例えば、セラミックインレーの咬合調整を完璧にやっても、すぐ割ってくる患者さんにナイトガードをしたら、割れなくなったそうです。その他、フルマウスなどの大きいケースにも大変効果があるそうです。一度お試し下さい。



営業部 西元健一 やっぱり金属床

保険の入れ歯を入れていて、もっと良い物がいいと言った患者さんには、金属床がお勧めです。金属床の総義歯では、
○レジン床より薄くできるので、舌感が良い
○薄くて強靱で破折しない。(0.3~0.4mm)
○床が金属である為熱反応が早い。
○食べたものの食感が良い。 部分入れ歯では
○設計の自由度が大きいので機能的でよく噛めて、異物感が少ない。 ○審美的に良好
等色々な入れ歯のの不具合が改善されます。当社ではプレートにイオン・コーティングを施したり、あるいは増歯や修理の際にはレーザー溶接など行うことにより、アフターの対応にも万全を期しております。

ジルコニアの

接着性ブリッジ



クラスプの見えない

スイングウェッジAT



イオンコーティング

チタン床デンチャー



株式会社 オー・プラン・ラボラトリー

〒661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-13

TEL:06-6426-5291 FAX:06-6426-5292

E-Mail:webmaster@opl.co.jp URL: http://www.opl.co.jp

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp(電子メール)までお願い致します。

□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 記載の上、返信願います。